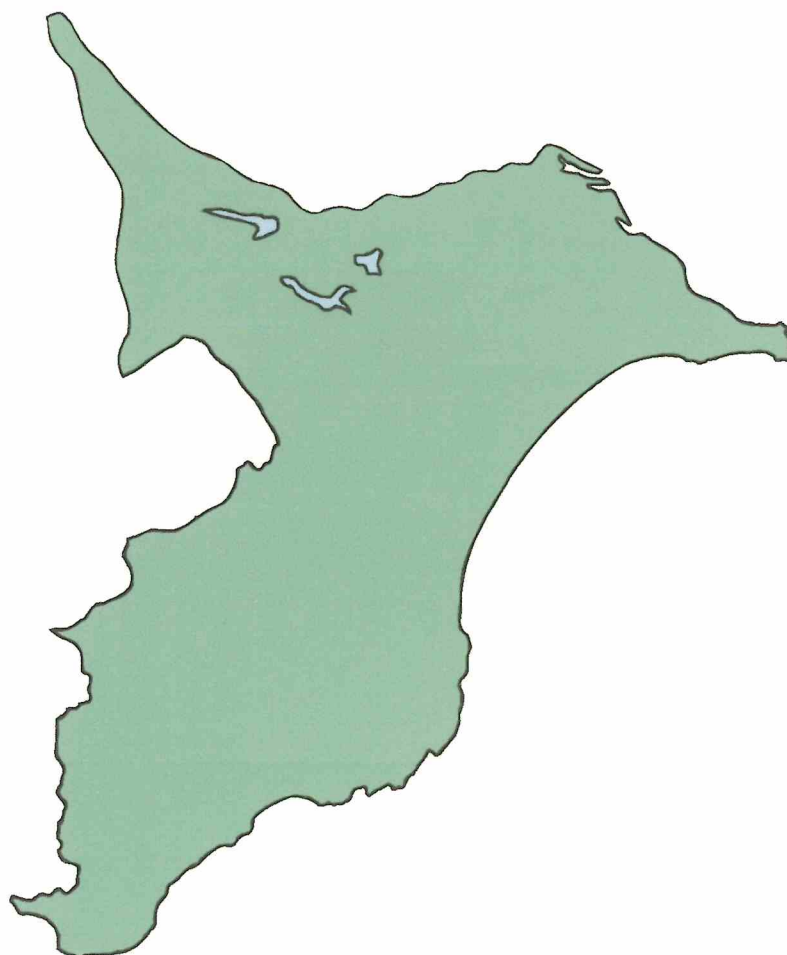


令和3年度～令和5年度版

研修のまとめ



令和6年3月

千葉県学校事務研究協議会

1. はじめに

学校や子どもをめぐる教育課題は多様化してきています。私たち事務職員も、これらに対応できる資質・能力の向上が求められています。

平成 29 年 4 月 1 日に改正学校教育法が施行され、事務職員の職務について「事務に従事する」から「事務をつかさどる」に改正されました。様々な変化にも対応できる学校事務の在り方や、事務職員の果たす役割について考え、学校運営に積極的に参画できる事務職員を目指し、研修事業を推進していく計画でした。

しかし、本研修計画の初年度となる令和 2 年度はコロナ禍による感染拡大防止のため研修事業を中止せざるをえなくなりました。そのため、研修計画期間を変更し令和 3 年度から令和 5 年度の 3 か年で実施をしました。またコロナ禍での研修会は、その時々での感染症対策を講じながら実施したため実施方法が異なっています。

これまでの経過をふまえ、令和 3 年度から令和 5 年度の研修について整理し報告します。

2. 研修の経過

(1) 層別研修

千事研では、第 1 次中期研究計画（平成 10 年度～平成 16 年度）において、「学校事務職員の研修制度の確立に向けて一研修制度の体系化について一」の研究をまとめ、「研修体系図案」「研修領域案」「研修項目一覧表」を策定し、学校事務職員の資質・能力の向上に寄与してきました。

第 2 次中期研究計画（平成 17 年度～平成 18 年度）においては、「学校教育の進展および教育環境整備に寄与できる総合的判断能力を持った事務職員」を目指す事務職員像に掲げ、経験年数に応じた層別研修会を継続的に実施してきました。

第 3 次中期研究計画（平成 19 年度～平成 22 年度）では、経験年数に応じた 5 つの層にねらいを設定し、レポート作成やグループ討議を交えることにより、会員一人一人の自己表現力・課題解決力などの向上を図りました。

第 4 次中期研究計画（平成 23 年度～平成 26 年度）では、以前の 5 層から変更し、4 層（平成 23 年度のみ 3 層）に分け、各層にねらいを定めた研修を実施しました。4 層の中でも年代の幅が広い中堅層に対し複数の研修内容を提案し、選ぶことのできる選択型研修を実施しました。また、年代別テーマを設定し、平成 24 年度「情報管理」平成 25 年度「経営能力」を目的とした研修を実施しました。

第 5 次中期研究計画（平成 27 年度～令和元年度）では、第 1 次から第 4 次までの成果と課題を受け、「教育が生きる学校事務」の実践・発展に向け研究を行ってきました。併せて、千事研と各地区が取り組んでいく研究の方向性を表す全体像を「千事研ビジョン」として提示しました。千事研ビジョンに基づき、学校経営への参画及び学校教育の進展に寄与できる総合的判断力をもった事務職員を目指して、経験年数に応じて 4 層に分け、各層にねらいを定めた層別研修会を実施しました。

令和 2 年度には 4 年間の研究計画「ちば夢プラン (vol. 1)」を策定し、地域との協働の第一歩を踏み出す段階（理解や周知、学ぶこと）としました。また、年度ごとの研究課題「地域協働」「共同実施・学校間連携」「財務マネジメント」「人材育成（人づくり）」を研修カリキュラムへ反映させ、経験年数に応じて 4 層に分け層別研修を実施しました。

(2) 学校組織マネジメント研修

千事研では、平成 17 年 2 月発行「学校組織マネジメント研修テキスト～すべての事務職員のために～（モデルカリキュラム）」を会員に配布し、学校組織マネジメント研修の浸透を図りました。平成 17 年度から実施した「基礎・基本編」に引き続き、平成 20 年度から経験 5 年目以降を対象に「実践編」を実施しました。平成 22 年度までにほぼ全員が受講したことで、手法についてはおおむね理解されたと考え、平成 23 年度以降は「実践編」を地区へ移行することとしました。その後の新規採用者に対応するため、初期層において「基礎・基本編」を実施し、学校組織マネジメント指導者養成研修に参加した会員が研修推進委員になり、研修の成果を初期層の会員に還元しました。

平成 28 年度から学校組織マネジメント指導者養成研修が教職員等中央研修(事務職員研修)になり、平成 29 年度から令和元年度においては、初期研修会 I で「基礎・基本編」、リーダー層研修会で「教職員等中央研修(事務職員研修)報告及び演習」を実施しました。

令和 3 年度からは、初期研修会で「基礎・基本編」、ミドルリーダー研修会で「ケースメソッド、タイムマネジメント」、リーダー研修会 A で「教職員等中央研修(事務職員研修)参加報告及び演習」を行いました。

3. 研修のねらい

【研修方針】

会員個々の資質の向上と、学校事務の主体的推進者として、学校経営への参画及び学校教育の進展に寄与できる総合的判断力をもった事務職員を目指し、経験年数に応じた研修会の企画を行う。また今後の世代交代を視野に入れ、経験年数を考慮したミドルリーダー、リーダーの育成を目的に加えた研修会の企画を行う。

(1) 層別研修

層別経験年数等	ねらい
初期研修会 (2年目・4年目(指定))	事務職員としての自覚をもち、必要な一般教養の習得及び基本的実務能力の育成を図る。
ミドルリーダー研修会 (経験5年目～13年目)	実践的事務処理能力を育成し、学校経営に参画する自覚をもち、ミドルリーダーとしての資質向上を図る。
リーダー研修会A及びB (経験14年目以降)	学校経営を支える事務職員としての識見と職能の向上を図り、学校・地域で指導力を発揮するリーダーを目指す。

(2) 学校組織マネジメント研修

層別	ねらい
初期研修会	すべての事務職員が学校組織マネジメントの基本的技法を習得し、学校教育目標の具現化に向け、より質と実現性の高い学校運営を展開できるようにする。学校運営や共同実施(学校間連携)など、様々な場面でリーダーシップを発揮できる事務職員を育成する。

層別	ねらい
ミドルリーダー研修会	実際の学校運営において起こりうるケースを想定したケースメソッド演習等を行い、これまでのスキルや知識を生かしての対処を想定することにより、マネジメント力の育成を図る。
リーダー研修会A	現在の学校が抱える諸問題を効果的にマネジメントする手法を演習等で学び、学校が組織的に教育目標を達成するために必要なマネジメント力の育成を図る。

4. 研修の成果と課題

(1) 層別研修の成果と課題

コロナ禍での研修会は、その時々感染症対策を講じながら実施しました。感染症対策の変更やICT環境が急速に発展するなかでも、会員の資質向上につなげられるような研修会を実施しました。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
初期研修会	Web研修：98名受講	参集：55名参加 個人演習実施	参集：64名参加 グループ演習実施
ミドルリーダー研修会	参集：65名参加 個人演習実施	参集：63名参加 個人演習実施	参集：57名参加 グループ演習実施
リーダー研修会A	Web研修：84名受講	Web研修：68名受講	参集：52名参加 グループ演習実施
リーダー研修会B	Web研修：94名受講	Web研修：82名受講	参集：74名参加 個人演習及び 全体協議

※令和2年度 新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため研修事業は中止

1) 初期研修会

成果

- ・実際に必携を使って演習問題を解いたことで、必携の内容や引き方を身に付けることができた。
- ・千事研の組織やあゆみについて、資料配布での対応となったが自身も組織の一員であるということ意識付けることができた。

課題

- ・4年目の受講者にとっては、2回目となり前回と重なる部分もあった。自身の振り返り、学び直しであることが伝わるような内容を考案し今後も継続していく必要がある。

2) ミドルリーダー研修会

成果

- ・講師である校長先生からの、事務職員への求める事務職員像や具体的な話を聞き、積極的に学校経営参画していこうと意識を高めることができた。
- ・先輩事務職員の実践を聞き、自身の取り組み方や考え方と向き合うことにより組織の一員としての意識を高めることができた。

課題

- ・講義の中で学んだ内容について、日々の業務に生かすことができる、具体的な実践例などを盛り込み、より伝わる研修を今後も継続していく必要がある。

3) リーダー研修会 A

成 果

- ・リーダーとしての意識のもち方などについて理解を深めることができた。また、これからも学び続けることの大切さについて意識付けることができた。
- ・自校や共同実施等におけるリーダーの役割について考えることにより、これからのリーダーの在り方について意識を高めることができた。

課 題

- ・これからの世代交代を見据えるとリーダー育成は急務であるとする。リーダー育成に重点をおいた研修を今後も継続していく必要がある。

4) リーダー研修会 B

成 果

- ・提案地区の現状と実践を聞くことにより、自身の地区の分析や課題の改善について意識を高めることができた。
- ・地域協働について、自身の考えや地域とのこれからの関わり方について意識付けることができた。

課 題

- ・地区提案の協議を活性化させるためにも、千事研ホームページ等を活用し、提案地区の資料を事前配布するなど検討していく必要がある。
- ・令和7年度で終了となる地区提案に代わる内容を検討する必要がある。

(2) 学校組織マネジメント研修の成果と課題

1) 初期研修会：学校組織マネジメント研修（基礎・基本編）

成 果

- ・「基礎・基本編」を学ぶことにより、課題解決にむけて事務職員として何ができるのかについて視野を広げることができた。
- ・事前の動画視聴を取り入れたことで、当日の研修時間の確保ができた。また、教職員等中央研修（事務職員研修）参加者のサポートにより、受講者の理解は深まったと考える。

課 題

- ・コロナ禍によりグループワークを行えなかったときは、他校の事務職員の意見や考えを聞くことができなかつたなどの意見があつたため、グループワークについては積極的に今後も取り入れていきたい。
- ・「基礎・基本編」を行うには知識や経験が不足していると感じているようだが、事前課題に取り組むことで勤務校のことを知るよい機会となるよう今後も継続していきたい。

2) ミドルリーダー研修会：ケースメソッド（R3）タイムマネジメント（R4・R5）

成 果

- ・ケースメソッドでは、課題整理シートで自校や地域の分析をすることができた。また、他地区の状況を知る機会にもなり、これからの自身の働き方について意識を高めることができた（R3）

- ・タイムマネジメントでは、実践方法の参考例や業務改善（行動計画書）シートを用いて、業務を分析することができた。これからの自身の時間のコントロールなど、実践的業務処理能力を高めることができた。（R 4・R 5）

課題

- ・具体的な実践方法を事前に示すことにより、研修会当日の研修時間に充てられるよう検討していきたい。
- ・午後からの開催で、3つの研修を行ったため研修時間の確保が難しかった。今後の研修の内容等について精査していきたい。

3) リーダー研修会A：教職員等中央研修(事務職員研修)報告

スタッフマネジメント（R 3）財務マネジメント（R 4・R 5）

成果

- ・スタッフマネジメントでは、より積極的な学校運営への参画と、つかさどる事務職員として求められる資質・能力について意識を高めることができた。（R 3）
- ・財務マネジメントでは、学校予算の洗い出しや予算プランニングシートを作成することにより、自校の学校予算と教育課程との関連について意識付けることができた。（R 4・R 5）

課題

- ・用語について、わかりにくいなどの意見があり用語の説明の必要性を感じた。事前配信資料や当日資料について、理解を深められるような資料の作成を検討していきたい。
- ・事前配布資料の時期、当日の研修時間の確保等について精査していきたい。

5. 今後の課題

(1) 層別研修における課題

千葉県教育委員会から令和3年3月1日「事務職員の標準的な職務の明確化について(通知)」が発出されました。また、千事研の令和5年度の年次別課題である「人材育成」において、事務職員の職におけるライフステージの到達目標を見直しました。

これらを踏まえて、次期研修計画では、層別研修における経験年数の区分けなどを見直す必要があります。

また、研修内容についても、ちば夢プラン（vol.1）の研究課題の継続に加えて、ライフステージに新たに盛り込んだ観点「共同実施組織における役割」「教育課程への理解」「児童・生徒理解」を研修カリキュラムに反映させる必要があります。

コロナ禍を経て、研修会の実施方法が多様化したことで、改めて、千事研の企画する研修会の意義を見つめ直したとき「千事研主催の研修会は、県内の事務職員が地区・支部を超えての交流を図ることができることが強みであり、会員へのメリットでもある」と再確認できました。

(2) 学校組織マネジメント研修における課題

初期研修会「基礎・基本編」のアンケート結果から約7割の受講者が「学校組織マネジメントの考えを学校で生かすことができそう」と回答しており、研修会の目的はおおむね達成

できたと考えます。しかし、自分の意見を他者へ的確に伝えることや、自校の課題を発見すること、解決の手立てを見つけることが困難だと感じている意見もありました。そのためにも千事研役員が学校組織マネジメントへの理解を深め、教職員等中央研修(事務職員研修)参加者と協力し充実したサポートができるよう考えていきます。ミドルリーダー研修会、リーダー研修会Aについては、事前課題の配信時期や、当日の研修時間の確保など運営方法についての検討が必要です。

6. おわりに

私たち事務職員が、学校の一員として組織力を向上させ、学校の課題を整理・解決し、児童生徒の教育支援を推進していくためにも、自己研鑽(学び続けること)が重要であると考えます。そのために千事研は、年度ごとに評価・改善を行いキャリア形成に必要な項目と会員のニーズに応じた研修を計画・運営していくことが必要です。これからも「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務」の実現を目指し研修の充実を図ります。

令和3年度 千事研 研修計画

研修名(目的)		対象者		午前		午後			
初期研修会 (98名) 7月21日～31日 資料・動画配信 学校事務職員としての自覚を持ち、必要な一般教養の習得及び基本的実務能力の育成を図る。	初期層 (経験年数 2・3・4年目 指定)	「法規の見方」 「情報管理」 講師 千葉県教育庁教育振興部教職員課 主席管理主事 山中 敬生 氏 事前提出:レポート	「千事研の活動・研究について」 講師 千事研役員 関口 晴彦	「学校組織マネジメント研修 (基礎・基本編)」 (個人別研修)(個人演習形式) 講師 平成29年度中央研修参加者 千事研役員					
		ミドルリーダー研修会 (65名) 11月9日(火) 千葉県教育会館(501)	ミドルリーダー層 (経験年数 5～13年程度) ※3年に1度参加	10:00～ 11:00 「学校事務職員に望むこと」 講師 富津市立青堀小学校 校長 山下 秋一郎 氏 事前提出:目標シート	11:15～ 12:15 「先輩事務職員による実践講話」 講師 香取市立小見川中学校 事務長 数合 幸子 氏	13:15～ 16:00 「ケースメソッド演習等」 (個人別演習形式) 講師 平成30年度中央研修参加者 令和元年度中央研修参加者			
リーダー研修会A (84名) 8月20日～31日 資料・動画配信	リーダー層 (経験年数 14年目以降) ※選択型研修 ※「A」又は「B」を 3年に1度参加	「コミュニティ・スクールについて」 「地域学校協働活動」 講師 千葉県教育庁教育振興部生涯学習課 学校・家庭・地域連携室 主査 新井 貴志 氏 同 主査 篠原 明 氏				「教職員等中央研修(事務職員研修)参加報告及び演習等」 (個人別研修)(個人演習形式) 講師 令和元年度中央研修参加者			
		10:00～ 12:15 地区提案 担当:八千代地区 「事務職員組織が開発する人材育成と 制度改善に向けた取り組み」 ・提案 ・質疑、応答 ・討議 等				13:15～ 16:00 「原点から考える地域と学校の『協働』 一学びを生み出す仕組みと仕掛けー」 講師 千葉大学教育学部 准教授 丹間 康仁 氏			
リーダー研修会B (94名) 9月16日～10月1日 資料・動画配信	リーダー層 (経験年数 14年目以降) ※選択型研修 ※「A」又は「B」を 3年に1度参加	学校経営を支える事務職員としての 識見と職能の向上を図り、 学校・地域で指導力を発揮する リーダーを目指す。							

令和4年度 千事研 研修計画

研修名(目的)	対象者	13	14	15	16
初期研修会 (55名) 7月6日(木) 千葉県教育会館(303)	初期層 (経験年数 2年目指定 4年目希望)	13:05～ 「法規の見方」 「情報管理」 講師 千葉県教育庁教育振興部教職員課 管理主事 片岡 大輔 氏 事前提出:レポート	14:50～ 「学校組織マネジメント研修 (基礎・基本編)」 講師 千事研役員等 (H29、H30年度サポート) 事前提出:事前課題シート	14:50～ 「学校組織マネジメント研修 (基礎・基本編)」 研修Ⅲ 「千事研の活動・研究について」 資料配布及び千事研HP掲載	～16:20
ミドルリーダー研修会 (63名) 11月15日(火) 千葉県教育会館(501)	ミドルリーダー層 (経験年数 5～13年程度) ※3年に1度参加	13:05～(60分) ～14:05 「学校事務職員に望むこと」 講師 船橋市立宮本中学校 校長 日根野 達也 氏 事前提出:目標シート	14:15～(50分) ～15:05 「先輩事務職員による実践講話」 講師 習志野市立第三中学校 事務長 菅原 祐子 氏	15:15～ 「タイムマネジメント研修」 (個人別演習形式) 講師 令和元年度中央研修参加者 (R2年度サポート)	～16:30
リーダー研修会A (68名) 8月4日～9月2日 資料・動画配信	リーダー層 (経験年数 14年目以降) ※選択型研修 ※「A」又は「B」を 3年に1度参加	13:05～ 「学び続ける事務職員像」 講師 全国公立小中学校事務職員研究会 副会長 前田 雄仁 氏	～14:55 ～14:55 「教職員等中央研修(事務職員研修)参加報告」 講師 令和2年度中央研修参加者 令和3年度中央研修参加者	15:10～ (70分)	～16:20
リーダー研修会B (82名) 8月10日～9月12日 資料・動画配信	リーダー層 (経験年数 14年目以降) ※選択型研修 ※「A」又は「B」を 3年に1度参加	13:05～ 地区提案 担当:習志野地区 「教育を生かす学校事務のあるべき姿を求めて」 ～チーム習志野～ ・提案 ・質疑、応答 ・討議 等	14:50～ 「これからのリーダー(ミドルリーダー)に期待すること」 講師 富里市教育委員会 教育長 吉野 光好 氏	14:50～ (90分)	～16:20

学校経営を支える事務職員としての職能の向上を図り、学校・地域で指導力を発揮するリーダーを目指す。

